

# 吾妻山砂防通信



第57号 発行日：H31年4月19日

## 災害時協力会社を対象とした 「吾妻山火山噴火対応防災講習会」を開催

**福島県内初!** **噴火に備え!**

- ▲開催日時 平成31年 2月22日 (金) 9:30~17:00
- ▲開催場所 吾妻山火山防災センター
- ▲参加者数 約100名

昨年9月15日に吾妻山の噴火警戒レベルが2に引き上げられ、監視体制を強化している状況です。当事務所では、吾妻山の噴火に備え、迅速かつ的確な対策を行えるよう、災害時協力会社を対象とした講習会を実施しました。福島地方気象台による「吾妻山の活動状況」の報告、当事務所からの「火山噴火緊急減災砂防計画」等の情報提供に加え、次世代型最新機器(遠隔操縦人型ロボット)の操作訓練を福島県内で初めて行いました。



▲東北地方整備局河川部による「東北の火山防災」講義の様子



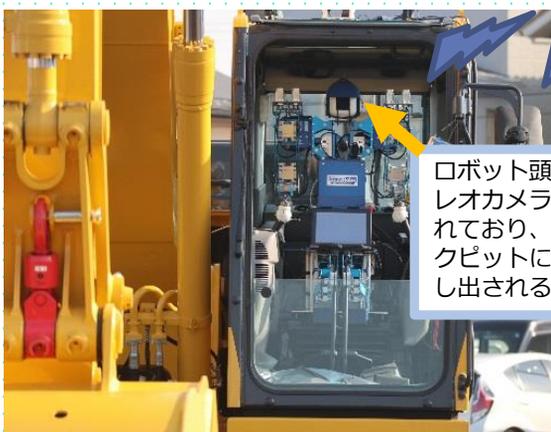
▲福島地方気象台による「吾妻山の活動状況」講義の様子



▲聴講会場の様子



▲無人によるバックホウの稼働状況 ▲遠隔操縦人型ロボット (運転席にロボット搭載)



ロボット頭部にステレオカメラが搭載されており、遠方のコクピットに映像が映し出される

### 参加者による遠隔操縦人型ロボットの 操縦訓練の様子



←画面ディスプレイに前方、周囲の画像を表示させ見ながら操縦、振動をコクピットにフィードバックしたリアルな操縦を体験できる

▲操縦装置  
左右のジョイスティックによる通常の建機と同じような操縦が可能



2月26日(火)、土湯温泉町地区自治振興協議会主催による土湯温泉夢セミナーが開催されました。昭和26年頃、当出張所で管理している「東鴉川砂防ダム」工事の際に発見されたと推測される化石が、名探偵によって、ひとつひとつ解明されながら1500万年前の「パレオパラドキシア」と判明するまでの調査のお話をご紹介します♪

謎解き

【化石がパレオパラドキシアと判明するまで…】

※国立科学博物館 木村 由莉 氏  
九州大学大学院 松井久美子 氏 の発表資料より

① 筑波大学収蔵庫に眠っていて今まで調査がなされていなかった骨の化石を発見 → 調査チーム結成。  
木箱に残されたメモを手がかりに現地(土湯温泉)で聞き取り調査。土湯温泉観光協会が協力し、当時を知っている方にインタビュー。  
・砂防ダムの工事中发现した骨であることが分かった!  
・大腿骨以外にも骨の化石が見つかった!  
・約65年以上前に見つかり、現地では「恐竜の骨」と知られていた!



化石と化石を収めた木箱 再発見当日に撮影(2017年6月)  
福島市土湯温泉町字館ノ越東鴉川右岸出土  
1955年6月14日と記載↑



木村氏と見つかった骨(重さは2kg)



見つかった骨のレプリカが夢セミナーで、土湯小(重さは2kg) 学校に贈呈されました

② 吾妻山山系砂防出張所のダム工事の資料、猪瀬学芸員(福島県立博物館)による地質調査結果から、化石の発掘地点は東鴉川第一砂防ダムか第三砂防ダムのいずれかであることが分かった!



③ 化石の母岩中のジルコンという鉱物を分析した結果、1600万年よりも新しい時代の化石であることが分かった!

④ この化石の正体を明らかにするために松井氏が、海外の研究機関で調査、日米の博物館に収蔵されている東柱類化石と分析を実施。

パレオパラドキシアの右大腿骨(下図赤部分)と判明!!



←本研究の一環として、デジタル復元したパレオパラドキシア

パレオパラドキシアってなに?

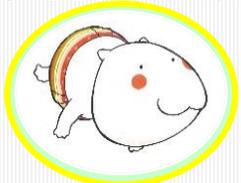
・1923年に新潟で最初の発見  
・パレオパラドキシア むかしの むじゅん  
=大昔に生きていたよくわからない動物という意味  
・1959年に名付けられる

ゆパッチー自己紹介

出身地: 福島県土湯温泉町 東鴉川(むかしからすがわ)  
誕生年: 今から約1500万年前  
種類: 哺乳類(人間と同じ仲間)  
性別: ???  
特技: 泳ぎかな?  
好物: 海藻、貝類  
身体: 1.8m 約200kg

愛嬌があり可愛いマスコットキャラクター『ゆパッチー』

土湯小の子ども達の名づけ親です。



現在、山に囲まれている土湯温泉が、昔は海の中だったなんて驚きですね!!  
そしてそのことを証明した「パレオパラドキシアの化石」が時を越え、観光資源として土湯温泉の力となって現代に蘇る。すばらしいことです☆

今年度より土湯小学校は休校となっており、このセミナーが学び舎での思い出作りのひとつになりました。子ども達は、地域おこしの提案として、『ゆパッチー』のキャラクターグッズ作り・恐竜に関する本やパンフレット作り・化石が見つかった場所をガイドする…等々アイデアをたくさん出し、大人と一緒に明日の土湯を考える姿に頼もしさが感じられました。身近な資源について学び・考え・生み出す経験は子ども達の財産となり、地元を誇りに思い、これからの土湯温泉の担い手となって活躍してくれることでしょう。

実際に子ども達のアイデアが採用されたり、検討されている事案もあるので、これからさらに盛り上がりを見せる土湯温泉が楽しみです☆



土湯小体育館で記念撮影

リポーターのさぼちゃん



「ご意見、ご感想、砂防に関すること」はこちら

◆福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) も是非ご覧ください◆

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

TEL:024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL:024-591-1207

今年度も  
ヨロシクお願い致します♪

